

第4次滑川市総合計画後期基本計画（素案）に関するパブリック・コメント実施結果

○募集期間 平成28年2月12日（金）～平成28年3月4日（金）

○意見提出状況

意見提出者数 1人

意見件数 8件

○提出された意見の概要と市の考え方

1 まちが元気

番号	提出された意見の概要	市の考え方
1	1-1 教育と文化のまちづくり (1) 子ども行政の一元化 ②放課後児童対策の充実 ア. 児童ひとりひとりの健全育成のために「児童（生徒）質問紙の結果から、基本的な生活習慣が身に付いていないことや家庭学習の時間が全国平均を下回っている」「個に応じた指導を適切に実施し、家庭学習における課題を適切に与える」（6ページ②小・中学校教育内容の充実）等に対し、放課後学習室開設、放課後児童クラブの活動の高度化、児童館・図書館での学習、育G・育Bの協力等の有機的な学校教育支援環境づくりを行ってほしい。 イ. 児童館において学校区の区別なく参加できる土曜子ども教室については、児童館に遠い子どもが保護者の力を借りることなく参加できるよう配慮してほしい。	ア. 生活習慣、家庭学習の充実につきましては、記載のとおり課題がみられ、保護者向けの家庭教育リーフレット等を活用しながら、家庭と連携し粘り強く改善を図ることが重要と考えています。 また、それぞれの活動等の連携は必要不可欠であり、放課後対策事業運営委員会において連携策等を協議していくこととしています。このほか、長期休業時等に開設される放課後子ども教室において、学習の取り組みを進めたいと考えています。 イ. 子どもたちが来館しやすいよう、コミュニティバスの停留所や運行について配慮していきます。

2	1-1 教育と文化のまちづくり (2) 学校教育の充実 ②小・中学校教育内容の充実 ア. 児童生徒の学力面で塾など学校外の勉強に頼ることなく学校教育で十分に学力がつくような施策を望む。 イ. 不登校児童生徒へのＩＣＴ機器を活用した家庭学習の充実および地域人による学習習慣・望ましい生活習慣の定着・保護者の支援等のために、親子支援員を養成するとともに、文科省が行う不登校を未然に防ぐための支援策の取り入れは出来ないものか。	ア. 児童生徒の学力向上については、学校教育が中心であり、重要だと考えています。 学校ごとに児童生徒の実態を把握し、課題を整理し、学力向上策を策定し取り組むことで、児童生徒の確かな学力の育成に務めています。また、各種研修等を通じて、分かる・楽しい授業を目指し、教員の指導力・人間力の向上にも務めているところです。 イ. 不登校児童生徒については、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置、適応指導教室での学習体制の充実などの支援を行っています。 ご提案のＩＣＴ機器の活用など、更なる支援策等につきましては、今後、研究していきたいと考えています。
3	1-1 教育と文化のまちづくり (5) 生涯スポーツの振興 ①スポーツ普及活動の推進 3-3 観光と交流のまちづくり (1) 観光の振興 ①観光資源の整備 (2) 海洋深層水の利活用 ①利活用の促進と開発 ・ 2月12日(金)田中寿美子さんによるウオーキング教室が実施されたが、本市はウオーキングを健康・体力づくり等の基に位置付け、市民が「いつでも、どこでも、だれでも」行える「ウオーキング＋海洋深層水(飲料)」、一方「宿場回廊ウオーキング＋海洋深層水(あいらぶ湯・タラソピア)＋滞在」で交流人口の増加につなげるクアオルト式まちづくりを広げるとことはできないか。 ※クアオルト…療養地・保養地	・ スポーツ・健康の森公園やいをのみ公園、ウオーキングコースなど誰もがいつでも気軽に利用できる環境を整備してきたところであり、ご提案の「ウオーキング＋海洋深層水(飲料)」につきましては、今後の各施設の活用に際し、参考にさせていただきます。 クアオルト式まちづくりのご提案につきましては、医療や環境、景観、介護、福祉など、複数の分野の専門的な研究と連携が必要なことから、今後研究していきたいと考えています。

4	1-2 福祉と健康のまちづくり (1) 少子化社会への対応 ③子育て支援・情報・相談体制の充実 ⑤婚活支援 富山大学経済学部中村真由美准教授が行ったある地域調査から、子育てを支援してくれる人が多いほど子育てしやすいと感じ、子育てしやすいければ出生率が上がるという相関があることが分かった。本市も後期基本計画に多数の少子化対策事業を盛り込んでいるが、より事業の成果をあげるため親族・隣人・町内・保育施設・企業（勤務先）・公機関の子育て支援体制構築を行う包括的担当者により、早い確立を望む。	子育て支援につきましては、ご意見のとおり計画に多数盛り込んでいるところです。その中に、「子育て世代包括支援センター」の設置を予定しており、結婚から妊娠、出産、育児の切れ目ない相談・支援体制の構築を目指しており、様々な分野で連携し、ワンストップで対応していくことが重要と考えています。
5	1-2 福祉と健康のまちづくり (5) 保険・健康・食育の推進 ⑤こころの健康づくり 自殺対策法改正案が今国会で成立の見通しを受け、地域自殺対策推進会議が中心になり本市障害者福祉計画の「基本目標 1 保健・医療・教育及び療育の充実」項目から離れ、障がいの有無に関係なく自殺対策の計画策定を今回の施策目標に入れることはできないか。	26-27 ページに記載している⑤こころの健康づくりにつきましては、障がいの有無の関係はありません。 ご提案の法改正による自殺対策の計画策定につきましては、法により義務付けられる予定です。
6	1-3 安全で安心なまちづくり (1) 防災・危機管理体制の整備 ①防災対策の推進 3-3 観光と交流のまちづくり (1) 観光の振興 ①観光資源の整備 1月21日(木)富山市は、調布市と災害時相互応援協定を結びましたが、本市も大都市と協定を結び安全で安心して暮らせる防災都市をより推進し、その評価を高めるとともに、日常は、協定都市との交流を行い交流人口の増加と町並みのにぎわいをつくることはできないか。	本市では、災害時における各種応援協定を県内の近隣市及び民間企業との間で締結しているほか、県外では姉妹都市の長野県小諸市と締結しており、応援体制は整えられています。 今後、どのような自治体とどのような内容の応援協定を締結することが有効であるかなど交流方法も含めて研究し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進していきたいと考えています。

7	2-3 協働と信頼のまちづくり (2) 計画的な行政の推進 ③組織機構の点検と人材育成 ・ 本市が、組織の再編を行い業務への責任を明確にし、意思決定の迅速化することは高く評価される。それにともない各課各係で密接に連携が必要とする施策が鈍化することなくより迅速化することを期待する。	・ 今後も迅速な対応や連携等に心がけ、市民サービスの一層の向上に努めます。
8	3-3 観光と交流のまちづくり (3) 姉妹都市交流の推進 ①交流活動の促進 ・ 日常、姉妹都市とＩＣＴを活用した遠隔授業を行って、訪問交流の成果をより高める。また、シャンバーグ市の交流においてもＩＣＴを活用し生きた英語学習と地域学習並びに世界のつながり学習に活用できないか。	・ ＩＣＴ機器につきましては、計画的な導入や更新など、その充実に努めることとしており、活用に関しても教員の研修を実施することとしています。 ご提案のＩＣＴを活用した英語学習などは、グローバル化への対応に非常に有効な手段であると考えており、これまで寺家小学校６年生とハワイ州マウイ島の小学生や高校生が遠隔授業の実験交流を行っており、今後は中学生も含め、実験・研究していく予定です。